

令和7年度 えびの市立上江小中学校 学校評価書

令和7年度 えびの市立上江小中学校 学校評価書				自己評価	学校運営協議会委員による評価	
【学校教育目標】 主体的に活動するたくましい上江っ子の育成 【めざす児童生徒像】 ○礼儀正しく、元気のある子 ○目標をもって、自ら学ぶ子 ○気づき、考え、行動する子					評価	意見
項目	重点目標と主な達成手段	具体的な取組	成果(○)と課題(●)			
学力の向上	<p>【目標】 児童生徒が主体的に学ぶ(学ぼうとする)力を高める。</p> <p>【手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> 主体的、対話的な授業(授業改善) 個に応じた指導(個別最適な学び) 個に応じた家庭学習 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員1人1回の研究授業による授業改善 算数科・数学科の授業における個に応じた指導 1人1台のタブレット端末の活用 家庭学習の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善の取組により、児童生徒の学習に対する興味関心や意欲がより高まった。児童生徒および保護者のアンケートでも授業に肯定的な意見が80%を超えた。 TTおよび少人数指導により、個に応じた指導を充実させることができた。 個に応じた家庭学習に取り組みさせることや教員が見届けを行い賞賛や励ましを行うことで、習慣化が図られた児童生徒が増えている。 ● 職員の数や教科担任の数により、TTや少人数指導ができないことも考えられる。 ● 様々な手だてを図るが、家庭学習が定着しない児童生徒もいる。 	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> TT、少人数指導は上江小中学校ならではの取組なので、今後も力を入れて欲しい。 ・家庭学習の習慣化については個々の家庭事情の差もあり難しいと思うが、最低限の宿題に取り組みさせてください。 ・その年、その年の取組を考えるべきかなと思います。 ・個に応じた指導はつまづきのある児童には、とても良いことだと思います。 ・学力については、個々の能力もあると思う。
豊かな心の育成	<p>【目標】 児童・生徒が豊かな心をもって、行動する力を高める。</p> <p>【手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> 元気のよいあいさつの励行 基本的な生活習慣の定着 積極的な読書活動。 児童会活動と生徒会活動の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 元気なあいさつの指導および言語環境の整備 基本的な生活習慣の指導 読書活動の推進 小中一貫校の特色を活かした児童会生徒会活動 	<ul style="list-style-type: none"> SNPBSの取組や児童会や生徒会が主体となったあいさつ運動の取組により、あいさつは向上している。 ○ 学校図書館の貸出冊数は、小学部7649冊(平均約132冊)、中学部940冊(平均約24冊)である。地域ボランティアの方に読み聞かせをしていただいている。児童も楽しみにしている。 ○ 中学部の生徒が、学校行事をリードし、運動会や白鳩祭、音楽大会など様々な行事において、児童生徒が主体的に取り組む姿を、教師が認め賞賛することで、自己肯定感を高めることができた。 ● 自転車で転倒した事案が2件あった。いずれも白鳥から末永への坂道だったので、引き続き安全指導を行う。 ● 家庭ではあまり本を読んでいないことがアンケートの結果から考察される。 	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも元気よくあいさつしてくれています。 ・読書については地域で一番の図書館活用をしてください。 ・読書活動については、どの学校も苦労されているようです。家庭への呼びかけを定期的に行うなど保護者への関心も必要なのではないかと思います。
健康増進・体力の向上	<p>【目標】 自己管理能力や体力を高める。</p> <p>【手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> 食育や自己管理能力の育成 立腰指導 体力作り活動の工夫 昼休みの外遊びや部活動を奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 食育指導 健康に関する意識の高揚 体力向上 日常における健全な心身の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校保健委員会や保健だよりの発行により、保護者と協力して健康に関する意識の高揚が図られている。 ○ 長距離走やなわとび等に取り組ませ、寒い時期も体力向上に児童生徒は努めている。 ○ 部活動、クラブチームでの活動等に多くの生徒が取り組んでいる。全国大会、県大会出場などの成績を収めている部もある。 ● 児童生徒の虫歯の治療をしていない家庭があり、繰り返し案内等を保護者に渡して、治療を勧めている。虫歯の治療率小学部67%、中学部30%であり、えびの市の歯科治療が無料になったことで、治療率が以前より伸びている。 ● 体力テストの結果として、全体としてボール投げの成績はよいが、長座体前屈といった柔軟性に課題がある。 	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・虫歯の治療率を高めるために、保護者へ受診を促す必要がある。 ・小中学生の医療費無償化も市で行っています。積極的に虫歯の治療に取り組んで欲しいです。 ・部活動をすることで、体力向上、人とのつながりができていると思う。また、保護者同士のつながりもできてお互い助け合っていると思う。
地域に貢献する人材の育成	<p>【目標】 郷土に誇りをもち、人のために尽くす力を高める。</p> <p>【手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「えびの学」の充実 えびの市キャリア教育支援センターの活用、地域と連携した教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土愛と自尊感情を高める「えびの学」の実施 ○ えびの市キャリア教育支援センターを活用したキャリア教育 ○ 上江地区の方々との交流活動 ○ 家庭への情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年「えびの学」に取り組み、自分の暮らしている地域のよさを実感できた。 ○ 地域学校協働活動に協力を依頼し、中学2年生を対象に職場体験学習を実施した。地域学校協働活動の協力を得ることで、えびの学に関する連絡調整等の職員の負担が軽減できた。 ○ 活動を通して、上江地区の方々と触れ合い、親交を深めることができた。 ○ 学級担任が学級通信を定期的に発行したりホームページを随時更新したりすることで、児童生徒の学校での様子を伝えることができた。 ○ 保護者との連携を密にし、気になる事案については、こまめに連絡し情報共有に努めている。 	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流事業も充実した取組がなされていると思います。 ・本年もたくさんのご相談ありがとうございます。地域の方からも毎回、子ども達と触れ合えて良かったと逆に感謝されることが多いです。次年度も継続しているんな支援に入らせていただけたらと思います。

※ 評価は4段階の平均(4:とても満足できる、3:満足できる、2:やや満足できる、1:改善が必要)

その他の御意見（ こんな力を身に付けて欲しい これからこんな力が必要だ 上江の子ども達に期待をこめて ）

- 目標をもって、そこに向かって粘り強く努力する力を身に付けて欲しい。その努力によって自信が付き、自分の意見をはっきり言えて、より広い世界が見えてくると思います。
- 自分に自信をもって行動できる。
- 今以上にえびのの行事やイベントなどに参加して上江をアピールして欲しい。
- 将来、大人になった時、地元（えびの市）に帰ってきて地域のリーダー的存在になってほしい。
- 自分で調べて自分で行動できる。人ばかり頼らない。
- 世界の色々なことにも目を向けてほしい。
- 新聞を読んでほしい。